

募集広報活動と両立しています！ ～育メンパパ小学校入学式に参列～

自衛隊神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長内山一空尉）は、この春、所員5名のうち3名のお子様たちが小学校入学式を迎えるという偶然がおこった。内山所長、日下部広報官、江澤広報官の3名は、入隊時期や年齢が異なるものの第1子が同級生という奇跡だった。「小学校の入学式という喜ばしい行事には、是非参列してもらいたい」と所長の意向もあり、今回3名とも式典への参列が実現した。

募集案内所では、3月下旬から4月初めまで新隊員たちの着隊業務があり、慌ただしい期間を経て無事業務を完遂。これにより4月の入学式当日は、日頃から自衛隊の業務に理解を示してくれている家族とともに入学式を迎える事ができた。体のわりに大きな真新しいランドセルを背負ったご息で令嬢の通う小学校へ同行することが叶い、育メンパパの3名からは「子供が同級生たちと楽しそうに会話する姿を見られたこと、一緒に小学校の門をくぐれたことは、素直に嬉しかった。入学式の記念撮影を行った時、あらためて子供の成長は早いと感じた」との感想があった。

市ヶ尾募集案内所は「これまでもお子様の行事等に積極的に参加し、家族の支援を代休や看護休暇等をうまく利用し勤務してきた。小学校入学という節目行事に参列できたことは隊員の士気を高められた。今後もワークライフバランスを大切に、仕事と家庭の両立ができる勤務環境を整えていくと共に、防衛省施策として男性の育児参画促進が勧められており、男性が育児に参加しやすい環境があることを募集活動に活かしていきたい」としている。



江澤2曹ご子息



日下部曹長ご家族



内山所長ご令嬢

広報官たちが繋いだ入隊者を祝福

神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長内山一空尉）は、令和4年4月18日（月）、分隊の新型コロナウイルス対策により2日間に分けて行われた第17期海曹候補生課程の入隊式を迎えた。茨田良平2士の祝福に駆け付けた。

茨田2士は、転職組の30歳。「船乗りになりたい」という夢を叶えるため、働きながら試験勉強に取り組み、一般曹候補生の試験合格を勝ち取った。当初の広報官であった井坂広報官（2海曹）から筆記試験対策や体力の向上等についてアドバイスを受け、二人三脚で努力を続けてきた。令和3年8月に井坂広報官（現・第51空群・厚木）が異動となったため、後任として事務所次長の日下部広報官（陸曹長）が引き継いだ。引継ぎ後は、砕氷艦「しらせ」の特別公開に一緒に出向いたり、護衛艦「いずも」見学会に招待したりと交流を欠かさず互いの信頼関係を深め、令和4年3月28日（月）横須賀教育隊着隊へとつなげた。

入隊式後、茨田2士は駆け付けた内山所長と日下部広報官を見つけると、緊張した顔が和らぎ笑顔が見られた。着隊後の生活について質問をすると、ハキハキと自信を持って答える茨田2士の姿に成長した姿が垣間見えた。

茨田2士からは「内山所長や井坂さん、日下部さんの励ましのおかげで、この日を迎えることができました。感謝しかありません。これからは、艦艇勤務が実現できるよう同期達と日々教育訓練を頑張っていきます」と意気込みを話してくれた。海上自衛官としての第一歩を踏み出した茨田2士は、凛々しい姿で大変頼もしく感じられた。日下部広報官は「ようやく一安心した。夢である艦艇乗りになっただけでいい」と語り、入隊式の写真付きで報告を受けた井坂2海曹は「すっかり海上自衛官ですね」と感慨深い様子だった。

市ヶ尾募集案内所は「2名の広報官に支えられた茨田2士が、無事に入隊式を迎えられた。広報官の思いが報われた。今後も募集対象者それぞれに合ったフォローを行ない、入隊者の獲得に邁進していきたい」としている。



（左）内山所長（中）茨田2士
（右）日下部曹長



第17期海曹候補生
入隊式の様子